

平成31年度 府立洛西高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
1 確かな学力を身に付けさせるとともに希望進路の実現を図る。	1 学力の伸長を目指してきめ細かな学習指導を行うことに加えて、ICT機器の活用やアクティブラーニングの実践も広がったが、十分な組織的な取組にまでは至っていない。 進路状況については、多くの生徒が希望の実現を果たした。ただ、安易な進路選択にはならないように、また、難易度の高い入試を突破するだけの学力を高めるために、3年間をとおして系統的な進路・学習指導を行っていくことには、更なる研究・実践の余地がある。	1 生徒一人ひとりを大切に、個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を行うとともに、新学習指導要領の実施に向けて教育課程の研究を行う。 (1) 以下のことに取り組むなどして授業の質をさらに高める。 ・ICT機器の効果的な活用の推進 ・アクティブラーニングの推進 ・教員相互の授業研究交流 (2) 地域や社会とつながり自己を高める場として、また、自ら課題を発見し他者と協働しながら考えを深める場として、洛再Linksを組織的に実践していくとともに、総合的な探究の時間等の教育課程に位置づけていく。 (3) 将来の生き方につながる教育活動を展開するとともに、ポートフォリオ等により自らの活動を蓄積、意味づけて成長につなげる取組を進めていく。 (4) 学習・部活動・学校行事等にも全力で取り組む学校文化をさらに醸成し、そのような活動をとおして豊かな人間性を育むとともに、主体的に行動する力を高める。
2 部活動・自主活動の充実・活性化により、豊かな人間性を育み質の高い集団作りを行う。	2 部活動、洛西フェスティバル等の主体的な活動は、大半の生徒が熱意をもって取り組んでおり、活性化している。 また、新学習指導要領の実施や、高大接続改革による大学入試の変化を見据えて、自主的・主体的な探究型学習である洛再Linksを1年生から始めることができた。今後、総合的な探究の時間の具体的な取組として今後位置付けていきたい。	2 開かれた学校づくりを展開する 本校の魅力を広く発信し、地域・保護者・中学生等からの信頼をさらに高める取組を推進する。
3 保護者、地域の方々から信頼され、期待される、魅力ある開かれた学校づくりを実現する。	3 ホームページやお知らせメールの更新頻度を上げることで広報活動を精力的に進めることができた。今後は、地域・保護者・中学生等からの信頼をさらに高めるために、学校説明会を始めとする広報の機会をより充実させていく必要がある。	

評価領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
組織運営	各種会議の連携を図り、学校運営を組織的に進める。	・部長会議を中心とし、各種会議にて課題に応じた組織的な検討を行う。 ・各種会議での検討内容を全教職員で共有し、共通理解のもと組織的な取り組みを進める。	B	B	B	各種会議は定期的な開催と必要に応じての開催により、情報を共有するとともに組織的な取り組みと対応ができた。また、部長会議の内容が分掌でしっかり報告され様々な取組を組織的に実施することができた。 年度当初からホームページはタイムリーに更新されるとともに並行して頻繁にお知らせメールも発信され、広く情報発信ができたものと考えられる。 学校周辺の公園等の清掃活動ボランティアや行政が主体となった事業にも積極的に参加し、地域との連携が深められたと考えられる。 危険な箇所の修繕を施し、安心安全な学習環境を整えることに努めた。 奨学金等の情報提供を行い修学支援の充実を図ることに努め一定の成果があったと考えられる。
	生徒・保護者・地域社会からの期待に応え信頼される学校づくりを一層推進し、本校の教育活動についての特色や魅力に関する情報発信に努める。	・学校内外で実施する本校の説明会や広報紙、ホームページ等の内容を充実させ、本校の教育内容や特色、魅力等を効果的に広報する。また、お知らせメール等を活用し、日々の高校生活等について生徒や保護者へ適切な情報提供に努める。 ・洛再Links等におけるボランティア活動等を通じ地域とのつながりを大切にすることに努める。	B			
	生徒の教育環境の充実に向け、適切な予算執行を行う。	・危険箇所の早期発見・改修を行い、安心安全な教育環境を整備するとともに、施設設備の充実を図る。 ・生徒の個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を実現するため、適切な予算執行を行うとともに、奨学金等の情報提供を行い修学支援等の充実を図る。	B			
			B			
			B			

学習指導 ・ 生徒指導	学習指導要領の改定を念頭に、現学習指導要領に基づく授業改善を図り、知識・技能や思考力・表現力・判断力を高める質の高い授業の実現に努める。	・アクティブラーニングやICT機器を活用して、「主体的、対話的で深い学び」に向けた授業改善を図る。 ・指導方法の工夫や改善を進め、積極的に公開授業等を実施し質の高い授業を目指す。	B	B	B	アクティブラーニングやICT機器を活用した授業については増加傾向であるが、生徒に力を付けさせる工夫など、さらなる研鑽が必要である。
	基本的生活習慣の確立と規範意識の向上に努め、安全意識(交通安全・防犯・防災)の高揚を図る。	・日常における挨拶や正しい言葉づかい、時間の自己管理を指導する。 ・制服の正しい着装や頭髮など高校生らしい姿、身だしなみを指導する。 ・自転車通学者を中心に、登下校時の安全指導を充実させるとともに、「4ない運動+1」を推進する。 ・スマートフォン(携帯電話)のモラルを教え、マナーを指導するとともに、SNSやネットとのか	B			

		かわり合い方など情報機器の正しい使い方を指導する。 ・洛再Linksやボランティアにおいて、積極的に活動を奨励し、豊かな人間性を育み質の高い集団となるように指導する。 ・部活動や学校行事、特に洛西フェスティバルに積極的に取り組ませ、健全な人間関係の構築を図るとともに、自主性・協調性の向上を図り、達成感を持たせるよう指導する。	B	B	導が必要である。 WGの立ち上げとともに洛再Linksの活動を地域との連携等を深め、活性化を図っていきたい。 部活動入部率は依然として高く、積極的に真面目に取り組む生徒が多く見られる。 洛西フェスティバルをはじめ学校行事に取り組む生徒の姿勢は積極的であり、自習性・協調性の向上につながっている。
進路指導	個に応じた指導等により、生徒一人一人の進路を実現する。 具体的目標として、国公立および難関私大への実合格者80人、国公立大学のべ合格者50人、難関私大80人を実現させる。	・校内の各組織と連携しながら、生徒が自ら将来像を描き、よりよい進路選択をしていくように促す。 ・発展クラス、標準クラスともに確かな学力を身につけて進路を実現するために、様々な働きかけを講じる。 ・生徒が主体的に学ぶ姿勢を身につけるために、LR等を活用して家庭学習の習慣化を促す。 ・個人面談を密にし、進路希望の明確化を図る ・教科指導や担任の面談の支援となる情報提供に努める。 ・大学入試等の制度改革について、適切な情報収集と対応を図る。	B	B	一人一人の進路実現に向けて、3年生を中心に適切な働きかけと支援ができた。下級生については学力充実を促しつつ、入試制度の変化におおよそ対応することができた。 大学入試制度に係る情報をはじめとし、生徒の進路に係る情報を適切に、タイムリーに担任をはじめ全教職員に提供することができた。
人権・健康・安全教育	他者を思いやる心と他者を尊重する心を育て人権尊重の意識を高めさせるとともに自己肯定感を持たせる教育に努める。 P T Aや地域と連携を深め、生徒の健全育成に取り組むとともに生徒の安心安全を守るため登下校の交通安全指導をはじめとする学校内外での安全教育に努める。	・人権学習の内容を充実させ、一人一人の意識を高めて人権が守れる集団となるように指導する。 ・自主的に読書に親しむ生徒を育て、読書を通じて豊かな人間性を育成する。 ・不登校等の未然防止や学習・生活支援を必要とする生徒への早期対応をはかる。 ・自転車通学者を中心に、登下校時の安全指導や啓発にP T Aや地域と連携して取り組む。	B	B	人権学習の内容充実のため、人権教育会議において各学年の人権教育の内容充実に向け検討し取り組むことができた。 いじめ対策会議を定期的に行い、いじめ未然防止に取り組んだ。 読書に親しむ生徒の育成を目指し、図書館利用学習を推進するとともに定期的な広報活動や公共図書館との連携等に積極的に取り組んだ。 定期的な教育相談会議だけでなく必要に応じて臨時の会議を開催し、欠席過多の生徒への早期対応に取り組んだ。また、特別支援教育に係わる生徒についての会議を定期的に行い、情報の共有を図ることができた。 自転車通学者を中心に、登下校時の安全指導や啓発に警察・P T Aや地域と連携して取り組むことができた。

学校関係者評価委員会による評価	・洛西高校の伝統は、勉強だけでなく部活動や学校行事にも熱心に取り組む、それが良き伝統となり校風となっている。 ・「洛再Links」の取組において、地域とのつながりを積極的に持ち、学校近隣の公園清掃等のボランティア活動を行い地域に貢献している事は素晴らしいことである。また、学校と地域のつながりを大切にする他にはない地域一斉清掃に近隣の小学校・中学校と連携して毎年取り組まれているのは素晴らしい。このような取り組みは地域でも評価されているので今後も継続してほしい。 ・PTAや警察と協力して、交通安全教室や登下校時の交通安全指導等を毎年定期的に行うとともに、自転車等の事故を未然に防止するために交通安全についての指導はしっかりやっている。これからも継続して指導してほしい。 ・学校ホームページやPTAのお知らせメールを有効に活用して多くの情報を分かりやすくタイムリーに発信している。 ・全学年のすべてのホームルーム教室に電子黒板とプロジェクターが設置されているので、それを活用したICT教育をさらに進めるための研修等を積極的に行い、授業改善・工夫に取り組んでもらいたい。
令和２年度に向けた改善の方向性	・今年度も継続して新学習指導要領の研修を進め、生徒の希望進路を実現させるための教育課程編成の検討を学校全体で進めて行きたい。 ・全学年の全教室に設置した電子黒板とプロジェクターを活用したICT教育を一層推進するため、授業における工夫と改善の研究を積極的に学校全体で行いたい。 ・主体的、対話的で深い学びを、本校独自の取組である探究型学習「洛再Links」（地域とのつながりを大切にし、地域の課題解決に取り組む）の取り組みを通して生徒たちに実践させる「総合的な探究の時間」のプログラムを発展・完成させていきたい。